

## 単元名 ゲーム(ゴール型ゲーム)サッカー

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) ゴール型ゲームでは、その行い方を知るとともに基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができる。
- (2) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。
- (3) 運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。

## 標準的な展開例

03100305\_001

【準備等】 サッカーボール、学習カード、カラーコーン、ハードル、対戦表 など

| 学 習 活 動  | 留 意 事 項 など  |
|--|---|
| <p>1 ゴール型ゲームのねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや進め方を知る。</li> <li>★チームに合った作戦を選び、ルールを工夫してゲームを楽しもう。</li> <li>○学習カードの使い方を知る。</li> <li>○マナーや安全な運動の仕方について知る。</li> <li>○チームを編成する。</li> <li>○試しのゲームをする。</li> </ul> <p>2～4 簡単なルールで、ゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゴール型ゲームに関連した体ほぐしの運動をする。</li> <li>○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、マナー、対戦相手</li> </ul> </li> <li>○チームの課題や作戦を話し合う。</li> <li>○第1ゲームをする。</li> <li>○反省し、練習をする。</li> <li>○第2ゲームをする。</li> <li>○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、作戦、ルール、マナー</li> </ul> </li> </ul> <p>5～8 チームに合った作戦を立て、ルールを工夫してゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体ほぐしの運動をする。</li> <li>○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、マナー、対戦相手</li> </ul> </li> <li>○対戦相手と、ルールについて話し合う。</li> <li>○チームの課題や作戦を話し合う。</li> <li>○第1ゲームをする。</li> <li>○反省し、練習をする。</li> <li>○第2ゲームをする。</li> <li>○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、作戦、練習、ルール</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻守が入り交じり、主に足を使って行うゲームの特性を理解させる。<br/>通常のサッカーのルールや場にとらわれず、児童の実態に合ったルールや場で行う。<br/>＜ゲームの例＞<br/>ラインサッカー、ミニサッカーなど</li> <li>・1チーム4～7人、男女混合で編成する。<br/>・＜試しのゲームの例＞<br/>2 ボールサッカー、4 ゴールサッカー、ラッキーゾーンサッカー、ノーラインサッカーなど</li> <li>・毎時間必ず行うようにする。</li> <li>・いろいろなチームと対戦することを知らせる</li> <li>・児童の実態とゲームのルールや場があっているかを観察し、確認する。</li> <li>・課題を立てられないチームには、話合いに教師が加わって助言する。</li> <li>・ゲームの結果から、チームのめあてに沿った動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。</li> <li>・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。</li> <li>【評】 いろいろなチームとゲームをする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・練習の成果を確認させる。</li> <li>・同じチームと2ゲーム行うことを知らせる。</li> <li>・ねらい1の学習をもとに、相手チームとの話し合いでルールや場の工夫がうまくいっているか確認する。<br/>＜工夫したルールの例＞<br/>だれでもフリーゾーンは入れるようにする。<br/><br/>ボールを柔らかいスポンジボールにする。<br/>サイドラインの外に手でボールを扱える人を作る。</li> <li>・課題を立てられないチームには、話合いに教師が加わって助言する。</li> <li>・ゲームの結果から、チームの課題に沿った動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。</li> <li>【評】 チームにあっためあてをもって練習する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・第1ゲームと同じチームと対戦させる。</li> <li>・練習の成果を確認させる。</li> </ul> |

- 9 サッカー大会をする。
- リーグ戦やトーナメント戦で、サッカー大会をする。
  - 単元のまとめをする。

- ・試合方法は、学級の実態に応じて決める。
- 【評】サッカー大会を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・チームでの話合いや学習カードによる自己評価などをさせる。

【 備 考 】

ゴール型ゲームはコート内で攻守が入り交じり、手や足などを使って攻防を組み立て、一定の時間内に得点を競い合うことを課題としたゲームである。本単元では、ゲームを中心として簡単なボール扱いや攻め方、守り方を身に付けみんながシュートすることを楽しめるようにする。サッカーの正式なルールに合わせて学習をするのではなく、実態に合ったルールでゲームを構築し、学習する楽しさ、喜びを味わわせる。

【運動が苦手な児童への配慮の例】

- ・パスを出したり、シュートをしたりすることが苦手な児童には、ボールを保持する条件を易しくするとともに、ボールを保持した際に周囲の状況が確認できるように言葉がけを工夫するなどの配慮をする。
- ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することが苦手な児童には、守る者の位置を見るように言葉がけを工夫するなどの配慮をする。